

提言事項

1 今後5年間で優先的に取り組む事項

班	優先して（重点的に）取り組むこと	関連する施策 （政策体系図参照）
	選定の理由（概略）	
A	コミュニティで支え合う特色ある地域づくりのために ○小さなコミュニティをつくり、そこに世代間交流ができる環境づくりをする。 ○そのコミュニティの中には、これから子どもを産み育てる年代の家族が全体の20～30%を目指す。 ○市内の中の町内コミュニティをそれぞれ集約させて、小さなコミュニティをあちこちに成立させる。 （理由） ・広がっての町内活動では活性化しない。 ・子育て世代がお互いに悩み等を相談できる環境づくりをし、世代間で支え合う地域社会づくりを実現するため。	（担当する分野） 1(1)④ 1(3)①② （他グループに関係する分野） ・雇用を生む。 ・住環境を中心市街地に集約する。 ・医療充実を図る。（小児、産婦人科） ・住宅を中心に求める場合、固定資産税減免等を。
B	○市を挙げて心と体の健康づくりに取り組む （理由） ・自殺者全国トップ、ガンの死亡率も能代市は多い。	（担当する分野） 1(5)①～④ 1(6)③ （他グループに関係する分野） 1(9)①スポーツ 3(5)①②医療 3(1)③
C	○誰もが気軽にスポーツを楽しめる環境づくりに取り組む （理由） ・生涯スポーツは、豊かな生活や生きがいづくりのほか、競技力・体力の向上や健康の維持・増進の効果が期待されます。みんなが楽しめるチャレンジデーの開催なども望まれます。日常的にスポーツに親しむことのできるよう、様々な年代、能力や趣味・関心、ライフスタイルに応じたスポーツの環境づくりが求められます。	（担当する分野） 1(9)① （他グループに関係する分野） 1(5)① 1(6)① 1(4)④ 1(2)③
D	○若者の定住に結びつく雇用の場を確保する （理由） ・若者の流出に歯止めをかけなければ、地域の活性化は望めない。	（担当する分野） 2(1)① 2(2)① （他グループに関係する分野） 2(7)④
D	○力強く持続する農業 ・基幹産業である農業を後世にわたって維持していく ・農業後継者の確保と6次産業化を含む農業の振興を図る （理由） ・高齢化が進んでいる。担い手が不足している。	（担当する分野） 2(3)② （他グループに関係する分野）

班	優先して（重点的に）取り組むこと	関連する施策 （政策体系図参照）
	選定の理由（概略）	
E	○豊かな自然やイベント（祭り）などの観光資源を活用し、まちの活性化を図る （理由） ・7月に花火、8月役七夕、9月おなごり、10月ニッ井マラソンと長期間イベントを続けているところはなかなかない。これを利用して、外から来た人達に刺激をもらって観光の誘客につなげて、まちが元気になるようにもっていきたい。	（担当する分野） ②観光素材をメニュー化して受け入れ体制を整える。 （他グループに関係する分野）
E	○まちのにぎわいをつくり出すために、個店や商店街の活性化を図る （理由） ・既存の商店の活性化が大事である。空き店舗の支援や、個店のPR事業は今まで実施している。今年は新たにまちゼミ事業を取り入れたりしている。さらに個店と商店街の活性化にむけ、取り組んでいきたい。	（担当する分野） 2(5)②中心商店街の空き店舗、空き地の活用を進める。 （他グループに関係する分野）
F	○身近な排雪場所を確保する （理由） ・排雪場所が少なく、遠い。 ・地権者の協力が得られにくい。	（担当する分野） 3(2)②機能的で利用しやすいネットワーク （他グループに関係する分野）
G	○地域医療環境の一層の充実、強化を図る 中核病院や地域がん診療連携拠点病院の体制整備への支援を充実強化するとともに将来的な医療環境の向上を図るため、病診連携の強化に努めていく必要がある。 （理由） ・市民の医療環境の高度化と質の向上を図り、市民の健康を確保していくため。	（担当する分野） 3(5)安心でき健康を保てる医療体制 （他グループに関係する分野） 1(5)子どもも大人も心と体の健康づくり
G	○政策課題に対応できる人材を確保する （理由） ・職員数の適正化（職員数の減少）に伴い、様々な政策課題に対応できるよう、少数精鋭が求められる。そのためには、職員の能力発揮、メンタルヘルスへの対応、適正な人事評価などへの取り組みが必要となる。	（担当する分野） 3(7)⑥ （他グループに関係する分野）